

チーム えがお

10月



《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

発行者:校長 岡田 達也

～ 図が お かが やき 図んばる 学校 図うえんだん 「チーム北川」



「いもほり」体験は 体と心の栄養に! これも地域のみなさんのおかげです!



18日(火)の1・2校時に、1年生と2年生の子どもたちは、5月に植えたサツマイモの収穫を行いました。芋掘りの講師は、公民館と老人クラブのみなさんでした。

「あつた! すごく大きい。」
 「なかなかほれないなあ。」
 「がんばって!」
 「いっしょにほろう!」
 「すごいなあ。」



子どもたちは、友達同士でいろいろな会話をしながら、用意した移植ごて(スコップ)を使って一生懸命にサツマイモを掘っていました。地域のみなさんはサツマイモの出来がよくないのではと心配されていましたが、子どもたちにとっては「ほりごたえ」ある芋ばかりでした。子どもたちの顔が隠れるほどの大きさの芋や大根のように長い芋まであり、移植ごてでは掘るのも一苦労でした。しかし、子どもたちは負けてはいません。芋を傷つけないように、一人で根気強く時間をかけて掘ったり、友達と協力して掘ったりしてがんばっていました。



その甲斐あって、とてもたくさん収穫することができました。最後には、ごほうびとしてサツマイモを一つずつもらって学校へ帰りました。お世話になった公民館や老人クラブのみなさんを招待して開催するサツマイモパーティー用の大きなサツマイモもいただきました。子どもたちみんな大喜びの芋掘り体験となりました。

こうした体験ができるのも、公民館や老人クラブのみなさんのおかげです。芋掘りのような心を動かされる体験が、子どもたちの成長には欠かせません。サツマイモは子どもたちの身体の栄養になり、体験は心の栄養になるのです。お世話をしてくださった多くのみなさんに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

「笠岡市学校給食センター学校訪問」 給食の大切さを学んだよ!



今日19日(水)に、笠岡市学校給食センターの学校訪問がありました。普段給食でお世話になっている給食センターのみなさんが来校され、2年生と5年生と一緒に給食を食べるとあって、該当学年の子どもたちは朝から楽しみにしていました。

給食を用意する子どもたちの様子をみなさんに見ていただいたあと、子どもたちと一緒に給食を食べていただきました。子どもたちは、嬉しそうにいっぱい話しかけていました。給食の後半では、給食センターの方々から給食についてのお話を聞きました。どのように給食を作

っているのか、給食に含まれる栄養素の効果など、給食に関してたくさんの方々に教えていただきました。校長室での懇談では、「子どもたちがいろいろ話しかけてくれました。」「よく話を聞いてくれてうれしかったです。」「よく発表してくれました。」「とても楽しかったです。」といったうれしい言葉をたくさんいただきました。今回の学校訪問は、子どもたちにとって当たり前のように食べている給食について深く考えるよい機会となったようです。

～ まだ間に合います! 「緊急配信メール」の登録をお待ちしています! ～